

クラウド

電子取引件数の目安

月 **50件**~  
1000件

電子取引

スキャナ保存

クラウド

入力代行

長期保管

# クラウド型証憑書類保存サービス

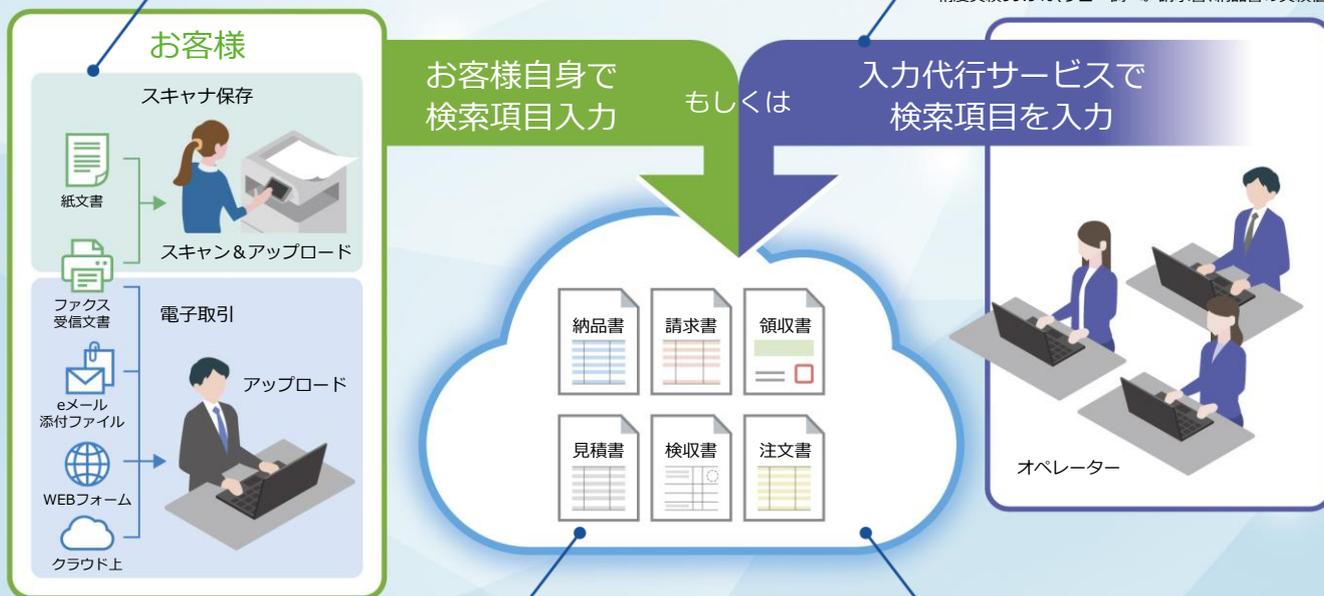
## RICOH 証憑電子保存サービス

請求書、納品書、領収書、見積書などのさまざまな証憑類をクラウド保存。  
手間なく簡単に電子帳簿保存法対応の証憑保存・管理ができます。

電子帳簿保存法の「電子取引」にも  
「スキャナ保存」にも対応

さらに高精度\*な検索を実現する  
入力代行サービス(オプション)

\*精度実績99.9%(リコー調べ。請求書、納品書の実績値)



クラウドなので  
リモートワークにも対応

最長11年3ヶ月の  
長期保存に対応

ご存知  
ですか？

2022年1月施行 改正電子帳簿保存法により

メール添付やWEBからのダウンロード、ペーパーレスFAXで  
送付・受領した証憑書類は、紙に印刷しての保存は認められなくなります

# 月々3,000円～※\*でできる電子帳簿保存法対応。 証憑類のペーパーレス化、保存・検索作業のコスト削減も実現

## RICOH 証憑電子保存サービス 電子帳簿保存法対応の安心ポイント

### —要件1— 真実性の確保



電子取引 スキャナ保存

#### 不正な改ざんを防ぐ仕組み

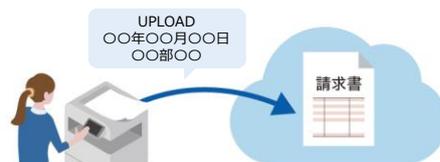
クラウドにアップロードした証憑データは訂正・削除ができないため、不正な改ざんを防ぐことができます。



スキャナ保存

#### 入力者情報の確認

アップロード、もしくは確定した人の履歴が残ります。  
(紙とスキャン画像の確認者定義が必要です)



### —要件2— 可視性の確保



電子取引 スキャナ保存

#### すぐに探せる仕組み

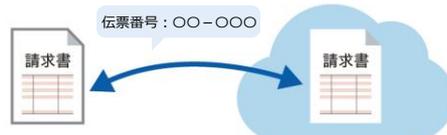
アップロード時に「取引先名」「取引金額」「取引日」を入力しておけば、過去の証憑の検索・閲覧が簡単にできます。また、入力代行サービスを活用すれば、入力業務の効率化も図れます。



スキャナ保存

#### 帳簿との相互関連付け

スキャンした証憑データに、帳簿の伝票番号をつけることができます。伝票番号での検索も可能です。



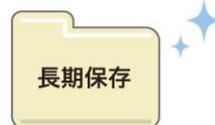
### —要件3— 長期保存



電子取引 スキャナ保存

#### 必要とされる期間保存できる

「RICOH 証憑電子保存サービス」のデータ保存期間は最大11年3カ月。法定の10年に加え、欠損金の繰越控除を受けるまでの保存が可能です。



RICOH 証憑電子保存サービスでは、データをアップロードするまでのデータ改ざん防止運用ルールを定めた事務処理規定が必要です。リコーでは事務処理規定作成などに役立つ「事務処理規定サンプル」をご提供しています

#### 価格

サービス名	価格(消費税別)
RICOH 証憑電子保存サービス	3,000円/1契約
RICOH 証憑電子保存サービス 入力代行サービス	70円/1通
RICOH 証憑電子保存サービス 10GB追加ストレージ料金	500円/1契約

月額  
3,000円～

※別途、初期費用としてRICOH クラウドアプリケーション スタートバック (5,000円) が必要となります。 ※基本料金は10GBのみとなります(保存は約5万通、1通は200KBを想定)。10GBを超える場合は、超過した分のストレージ料金 (500円(消費税別)/10GB) が月額で発生いたします。 ※基本料金は契約月のみ無償となります。入力代行サービスおよびストレージ容量のカウントは、契約日より料金適用の対象となります。 ※お客様のご要望によって構成などが変わります。詳細は担当営業までお問い合わせください。

RICOH 証憑電子保存サービス 紹介ページ



電子帳簿保存法のギモンにお答えします  
電子帳簿保存法チャットボット



**RICOH**  
imagine. change.

株式会社リコー  
東京都大田区中馬込1-3-6 〒143-8555

●お問い合わせ・ご用命は…